

工業「情報技術基礎」	単位数	2単位
	学科・学年	土木科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	現代の社会は高度情報化社会といわれ、コンピュータが学校、一般家庭およびあらゆる産業の中で利用されている。このような高度情報化社会の中で、社会人として活躍するためのコンピュータにかかわる基礎的な知識と技術を学ぶ。
使用教科書・副教材等	精選情報技術基礎（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲	
1 学 期	1 産業社会と情報技術 (1)情報化社会のモラルと管理 (2)情報セキュリテの管理	4 5	・工業技術者として望ましい情報活用の態度を学習する。 ・情報の収集や発信と自己責任、プライバシーの保護、情報に対するモラル、著作権制度や工業所有権などについて学習する。	中 間	
	2 基本操作とソフトウェア (1)ソフトウェアの基礎 (2)アプリケーションソフトウェア	6 7			・代表的なアプリケーションソフト（ワープロ・表計算・図形処理ソフトウェアなど）の基本的な操作方法を学ぶ。
	2 学 期	3 プログラミング (1)プログラム言語 (2)プログラムのつくりかた	8 9	・流れ図に関する問題を多く解き、流れ図が作成できるようにする。 ・基本的なプログラムの作成のしかたを習得する。	中 間
		4 ハードウェア (1)処理装置と周辺装置 (2)データの表し方 (3)論理回路の基礎	10 11 12		
3 学 期	1 ネットワーク (1)ネットワークと通信技術	1 2	・LAN・WAN・インターネットの概要を理解する。 ・データ通信の身近な例により、システムの構成を理解する。 ・コンピュータ制御や組込み技術の概要を理解する。	学 年 末	
	2 コンピュータ制御 (1)コンピュータ制御	3			

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・学習活動に積極的に参加しているか。 ・課題を自分のものになっているか。
思考・判断・表現	・基礎知識がしっかりと自分のものになっているか。 ・基礎知識をもとに表現および応用ができているか。
技能	・アプリケーションソフトウェアの基本ができているか。
知 識 ・ 理 解	・コンピュータを適切に利用することができるか。 ・3級情報技術検定試験に合格したか。
<p>・ 学習の状況は、上記の4つの観点で評価する。具体的には、「出席」、「授業態度・取り組み」、「小テスト」「提出物（ノートなど）」、「定期考査」、「情報技術検定試験」により評価する。</p> <p>・ 学年の成績は、第1・2・3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。</p>	

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・先生の話をよく聞き、積極的に挙手・発表をしてください。 ・定期考査前には、ノートをよく見て勉強するとよい結果につながります。
--